

朝倉市第1次都市計画マスタープラン(一部改訂素案)及び朝倉市立地適正化計画(素案)に対するパブリックコメントについて

実施期間: 令和5年12月26日(火)～令和6年1月22日(月)

意見提出者数: 2名

意見提出件数: 14件

都市計画マスタープラン

(ご意見の一部については、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。)

ご意見・質問内容	回答または修正案
<p>P126 他 甘木駅周辺のまちづくりの促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ両駅(西鉄甘木駅、甘鉄甘木駅)を統合して駅ビルを作らないのか?</li> <li>経営会社が違うので経営方針の一致、工事費の捻出等合意が難しいのか?</li> <li>駅前広場の確保が、難しいが方策はあるはずでは?</li> </ul>	<p>駅利用者アンケートを実施した結果、西鉄甘木駅と甘鉄甘木駅の乗り換えはありませんでしたので、統一した駅ビル等は検討いたしません。また、策定中の甘木駅周辺整備基本構想において、西鉄甘木駅、甘鉄甘木駅を含む駅周辺エリアの整備計画、利活用等について、検討されます。</p> <p>詳しい内容は、朝倉市HP: 都市政策課 情報一覧をご覧ください。  <a href="https://www.city.asakura.lg.jp/www/section/1680278234918/index.html">https://www.city.asakura.lg.jp/www/section/1680278234918/index.html</a></p>
<p>P126 他 新市庁舎周辺のまちづくりの必要性について 政府が進めるデジタル化、IT化の視点はどれだけ考慮されているのか?</p>	<p>市では、住民票等のコンビニ交付や給与支払報告書、法人市民税の申告書、償却資産申告書等を自宅やオフィス等からインターネットを利用して提出する、電子申告及び電子申請・届出サービスを行っています。これにより、市民サービスの向上、事務の効率化を図ることができると考えます。</p> <p>また、新市庁舎ではサーバ室を上階に設け、災害時でも防災拠点として機能維持可能な計画としています。新市庁舎周辺では、公共施設が立地していますが、戸建住宅地や農地も散在しています。新たな拠点として土地利用の誘導や市街地の整備を行うことで、多様な都市機能の誘導、及び集積を図り、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めます。</p>
<p>P110 他 甘木土地区画整理事業について 外郭道路は幹線道路で囲われているが、内部に入ると幅員4m以下の道路が残り離合ができない。また、街区公園(児童遊園地)が無い、消火栓が少ない等、このような現状が中心市街地の発展を阻害しているのではないのか?</p>	<p>中心市街地の整備については、平成10年に都市計画決定し土地区画整理事業を検討しましたが、事業成立性や権利者合意等の問題より長期化していましたので、地域住民の合意のもと、代替事業として平成20年度よりまちづくり交付金を活用した都市再生整備計画(新プラン21計画)によって、令和3年度に道路や公園等の施設整備が完了しています。今後は、民間活力の誘導によるまちづくりを推進します。</p>
<p>P114 他 安全・安心なまちづくりについて 防災対策に力を尽くすのが行政の責任と考えるが、台風災害防止、地震災害防止の記載が無いのは何故か?</p>	<p>地震対策として、安全・安心なまちづくり方針のP.115「◆日常生活での安全の確保」において、公共施設や住宅の耐震化促進や取り組みについて記載しています。</p> <p>新市庁舎では、免震構造を採用することで、防災拠点施設としての機能を維持します。</p> <p>また、自然災害の防災対策等については、個別計画の朝倉市地域防災計画にて、想定される自然災害等について記載しています。</p>
<p>【市総合計画】 基本目標2「子どもから高齢者まで、健やかに笑顔があふれるまちづくり」</p> <p>【市都市計画マスタープラン】P81図表 人口の将来展望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口の将来推計の基礎に特殊出生率1.86と2.07が使われているが何故か。</li> <li>人口の将来推計が間違っているが、訂正はどうするのか。</li> </ul>	<p>将来人口の考え方については、朝倉市人口ビジョンと整合を図ることとされており、同ビジョンに基づく、希望出生率1.86(住民アンケートより算出)および国が示す長期人口均衡出生率2.07にて推計しています。</p> <p>P81の将来人口の推計値は、平成27年国勢調査の数値を基準とした将来人口推計値(出典:国立社会保障・人口問題研究所)としています。令和2年国勢調査の数値を基準とした各市町村の将来推計値は令和5年12月に公表されていますが、立地適正化計画における現況整理等で使用している500mメッシュ当たりの将来人口推計は現状では公表されておりません。よって、計画全体の整合性を図るため、今回の朝倉市都市計画マスタープラン改訂と立地適正化計画においては、平成27年国勢調査の数値を基準とした将来推計値とします。令和2年を基準とした将来推計値は、次回の計画見直しの際に公表されていれば反映する予定です。</p>
<p>【市総合計画】 基本目標2「子どもから高齢者まで、健やかに笑顔があふれるまちづくり」</p> <p>【市都市計画マスタープラン】 実現に向けた具体策が見えない。少子高齢化に対し、全国では、学校給食費の無償化、18才までの医療費の無料化等の施策が実現しているが?</p>	<p>本計画は、市総合計画等の上位計画と整合を図った都市計画に関する基本的な方針を定めるものになります。</p> <p>①子育てや福祉のご意見については、P.75「誰もが安全・安心に暮らせる都市空間づくりの推進」の貴重なご意見として賜ります。</p> <p>②健康づくりのご意見については、P.83「レクリエーション拠点の整備」の貴重なご意見として賜ります。</p> <p>なお、第3次朝倉市総合計画の基本目標2の施策推進については、朝倉市子ども・子育て支援事業計画、朝倉市健康増進計画、高齢者福祉計画、朝倉市障がい者計画等の個別計画で行います。</p>

ご意見・質問内容	回答または修正案
<p>【市総合計画】 基本目標2「子どもから高齢者まで、健やかに笑顔があふれるまちづくり」</p> <p>【市都市計画マスタープラン】 高齢者世帯が増加する将来を考えたら、高齢者と子育て世代の住宅を混在させる市営住宅街の整備も有効だと思う。</p>	<p>本計画は、市総合計画等の上位計画と整合を図った都市計画に関する基本的な方針を定めるものであります。市営住宅等の建設については、個別計画である「市営住宅等長寿命化計画」等で計画的に管理していません。</p>
<p>【市総合計画】 基本目標1「災害に強く、快適に暮らせる安全・安心なまちづくり」</p> <p>【市都市計画マスタープラン】 都市計画決定した公園5ヶ所、その他2ヶ所とあるが、甘木市街地に2ヶ所（一木児童公園、甘木公園）であり少な過ぎる。堤、来春、頓田区は、人口が増加しているのに公園・児童公園が無いのではないかと？</p>	<p>P.103「住区基幹公園など身近な公園・広場の整備」に、都市公園以外の身近な公園として、子どもから高齢者まで気軽に憩えるような、ちびっこ広場や児童遊園、コミュニティセンター等の公共公益施設と一体化した広場の整備などを推進する旨の記載をしております。</p>
<p>【市総合計画】 基本目標1「災害に強く、快適に暮らせる安全・安心なまちづくり」</p> <p>【市都市計画マスタープラン】 堤、来春、頓田区は、新築住宅、アパート等が増加している。開発地内は、4～6mの道路であるが、地域内の道路は狭く、まちづくりに整合性が見られないのでは？</p>	<p>P98-99 堤、来春、頓田区付近では、都市計画道路である大塚柿原線、神田古賀線、千代丸堤線、東田柿原線の4路線の道路整備を推進し、地域生活に密着した生活道路は、安全性や快適性、移動のしやすさなどを重視し、歩道や横断歩道などの交通安全施設の整備に努めます。</p>
<p>【市総合計画】 基本目標3「次世代につなぐ 環境にやさしいまちづくり」</p> <p>【市都市計画マスタープラン】P108 ダム の効率的な運用について、「今後は福岡市など周辺地区への水資源供給の役割を担うために3つのダムを効率的に運用する」とあるが、「効率的な運用」と「親水空間を創出するなど河川の整備を進める」は相反することになるのではないかと？</p>	<p>ダムの効率的な運用とは、ダムの維持管理や更新、災害発生時の迅速な防災行動への取り組みや、木和田導水路を通すことにより江川・寺内ダムでは活用しきれなかった水（無効放流）を活用するなど、より効率的な水の運用を想定しています。 一方、親水空間の創出は、ダム湖や河川などその周辺を含めた利用を検討し、自然とのふれあいを大切に親水空間としての活用を図る事で、相反することではございません。</p>
<p>【市総合計画】 基本目標3「次世代につなぐ 環境にやさしいまちづくり」</p> <p>【市都市計画マスタープラン】 令和5年7月10日の大雨に伴う小石原川の増水は、河川敷を削り、砂利等の流出で新たな堆積地を形成した。洪水、氾濫に対する防災対策が必要である。 佐田川の下流、中流の堆積物の排出がなされず、河道が浅く、狭くなっている。ダムからの放流が少なく流水が途切れる状況も発生している。</p>	<p>河川改修などにより治水事業を進め、洪水・氾濫に対する防災対策を講じます。 ご意見については、P.108「主要河川の整備」の貴重なご意見として賜ります。 また、立地適正化計画の第8章防災指針では、洪水に対するリスクの低減策として、河川の改修について国・県と連携しながら実施していく旨を記載しています。</p>
<p>【市総合計画】 基本目標4「活力ある産業と魅力的な観光資源があるまちづくり」</p> <p>【市都市計画マスタープラン】 原鶴温泉の浸水対策の抜本的な解決策が遅い。環境整備がされず温泉街の寂れ感が大きい。</p>	<p>① 浸水対策のご意見については、P.148「安全・安心のまちづくり方針」の貴重なご意見として賜ります。 ② 温泉街の賑わい対策のご意見については、P.147「温泉観光地」の貴重なご意見として賜ります。</p>
<p>交流人口を増やすためには、観光客を増やし「来訪して、歩いてもらう」ということが大切と聞いた。それには「歩いて楽しい」と思えるような、オルレコースを取り入れではどうでしょうか？九州でも、いくつか増えているようです。 今後、ますます高齢化社会となり、散策を終え、卑弥呼の湯でくつろいでもらうのもいいかと思う。</p>	<p>交流人口の増やすことは、たいへん重要な課題と考えます。貴重なご意見として賜ります。</p>

## 立地適正化計画

(ご意見の一部については、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。)

ご意見・質問内容	回答または修正案
<p>7章-2 甘木駅周辺のまちづくりの促進について 両甘木駅の利用者数について、R2年時点の現状値が1,988人/日に対し、R22年点の目標値が1,988人となっている、増加する展望の無い数字になっているのではないかとあれば、本計画の土地利用計画は、駅利用の徒歩・自転車圏域の人口増に繋がらない計画なのではないか？</p>	<p>人口減少、高齢化が進展する中、個別計画である「市地域公共交通網形成計画」を踏まえ、利用者ニーズに応じた運行ルートや時刻表の見直しなど、公共交通の維持のため現状維持の利用者数を目標とします。</p>